

照明効果もいっぱい
かわいらしくて
たのしい舞台!

こぞ幼児に!
人形劇団京芸

うみぼうや うみぼうず

原作 山下明生 (のら書店刊)

2 作品 55 分

制作 小林洋介

演出 清水正年 美術 菅沼輝之

照明 森田智子 (Jelly Beans)

音響効果 西川弘 (RPH) 音楽 うえだめめ



スチールパンの
軽やかな音楽にのって
海の生命力が
溢れ出す!

『うみぼうや』は大海原でみんなと元気に暮らしています。
そんなぼうやが入道雲のてっぺんから降りられなくなってしまった!
海の仲間達みんなで助け出さなんだ! **いくぞーっ!**

みんなの感想

- ◆ 2 作品ともとても楽しい内容で、2 歳の孫も目をキラキラさせて観ていました。
- ◆ 子ども達は妖怪の海坊主一家をすぐに味方と認識した様で、一緒に海の冒険を楽しんでいました。
- ◆ 影絵や照明効果で表現される海の世界が面白く、見応えのある舞台でした。



まねまねパピプ

作・美術 小林洋介 演出 清水正年 音楽 うえだめめ
なかとよし 3 歳 5 歳 ぐらいの楽しいまねっこな日常♪

元気すぎるがゆえに周りからはちょっと敬遠されているうみぼうや。しかし、いざぼうやがピン子になると、周りの大人達は全員が総出で助けに行きます。大人達も友達も、うみぼうやがいつも全力で生きているのを知っているからです。困ったら助け合う、嬉しいことがあったら共に祝う。ダメなことをしたら隣の家の子でも叱る。そんな、ひと昔前はあたりまえに溢れていた“地域ぐるみで子育てする”世界観がこの作品には流れています。「古き良き時代」…ではなく、「今、この良き時代」になれると信じて、この作品を作りました。ぜひご覧ください。